

ネパール S.L.C 試験の歴史

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン

理事長 マナンダール マダープ ナラエン

今年の S.L.C 試験は 3 月 20 日から 30 日まで全国一斉に始まった。期間は土日の休みを含め 11 日間にも及ぶ。ネパール文部省の発表により受験者数は 52 万人を超える。試験時間は午前 7:30 から 10:30 までの 3 時間で 1 科目行う。全 8 科目で今年は英語、国語、数学、総合科学、社会、保険・環境、選択科目 1 (言語、社会、数学などから 1 科目)、選択科目 2 (コンピュータサイエンス、教育、音楽、会計などから 1 科目) の順で実施される。最終日は演習となる。S.L.C 試験を受ける約半年前にそれぞれの学校でセンドアップ試験を行い合格することが義務付けられている。受験費用は学校により 1 人当たり 400 ~ 1,000 ルピーかかる。

S.L.C 制度導入に際しては英国の GCSE (General Certificate of Secondary Education、一般中等教育修了証明書の意味) 制度が参考にされた。以前にはマトリクレイション試験とも言われており、これに合格すると進学や就職に大変有利であるとされている。この制度はインドが英国に支配されていた時代に取り入れられ School Leaving Certificate と呼ばれた。高等学校教育までの 10 年生の単位を修得した後に行われる全国高等学校統一試験は全国一斉の卒業試験となる。今年に関しては文部省によると試験会場は 1,748 ヶ所で試験官は 56,000 人が配置さ

れる。S.L.C に合格しなければ 10+2 または短大に進学できない。生徒たちは合格に向け勉強に必死となる。

ネパールは 61 年前まではラナ族の支配の下、約 104 年間鎖国であった。当時のネパールでは学校教育は殆どなくサンスクリット語による宗教的な経典、礼儀、儀式や習慣などをお寺、僧院やアシュラム (修行道場) で教えていた。

1854 年にジャンガ・バハドゥール・ラナ総理がヨーロッパを訪問した際、英語の必要性を認識し、また自分たちの政権をより強固にするため、ネパール初のラナ族や関係者のための英語教育中心の学校を開校した。1886 年には初めて一般の一部エリートにも入学が許可された。後のビール・シャムセール・ラナ総理が 1910 年にこの学校をカトマンズのラニポカリに移した。ダルバール学校と名付け立派な校舎を建てた。ダルバールとは宮殿のことで、即ち宮殿に関わる人々のための学校であった。当時はインドのカルカッタ大学の分校のようなもので、S.L.C 試験はカルカッタまで行かなければならなかった。受験者の渡航費や滞在費など全ての負担はネパール政府が持った。1924 年にダルバール学校はインドのパटना大学の分校となった。ネパールで S.L.C 試験が行われるようになったのは 1930 年からで、これはパटना大学が行う

もので、試験監督も結果発表もパトナ大学が行うものだった。当初は受験科目にネパール語である国語は行われず、1934年に初めてネパール国内でS.L.C試験が行われた際、ネパール語が加わった。受験者34名だった。



ダルバール高等学校

ダルバール学校は後々政治情勢の変化と国民の要請に止むを得ず、広く一般の人々にも開放され、現在この学校はバヌバクタ（ネパールの詩人）高等学校になっている。ラナ族支配の政治が終わり1951年以降ネパールは王制の下の民主化になり学校の数も年々増えた。現在は全国に小学校26,000校、高等学校4,500校がある。1985年ネパールにはトリブバン大学しかなかったが、教育普及に伴い大学は5校に増えた。現在はトリブバン大学、カトマンズ大学、ポカラ大学、ブルバンチャル大学、マヘンドラ・サンスクリット大学がある。それぞれの大学と提携しているキャンパス（短大、今後は高等教育学校）が多数ある。そのほかに今後ルンビニ仏教大学、中西部大学、西部大学等が開校予定である。

一番古いトリブバン大学は1959年にできた国立大学で、約30万人の学生がいる。ここには殆どの学科があり全国に約85校のキャンパスを持っている。そして800校のキャンパスと提携している。多くの外国の大学とも提携していて日本の大学では、島根大学、大阪産業大学、創価大学、京都大学、立教大学などがある。

S.L.C試験が始まった当初は合格率は低く、合格者はエリートと見なされた。多くの住民がインドから帰ってくる受験生を町外れまで出迎えに行ったりもした。合格後の進学先はインドへ留学するしかなかった。1918年ネパールに短大ができたが、卒業試験はインドのパトナ大学の下で行われていた。

初期のS.L.C試験合格率20%余りに対し現在は50%前後まで向上している。

ネパールの識字率は1902年頃の2%から現在は64%に向上した。国民の教育に対する関心は年々高まりつつある。

各ランク別のS.L.C試験合格点は以下の通りである。

1	特等級	80%以上
2	1等級	60%~79.99%
3	2等級	50%~59.99%
4	3等級	32%~44.99%

今年はミランダルマスターリ学校から11名受験できることになった。初めての受験生に学校の期待がかかっている。